

魚礁に関する文献集：その6

井上, 進
九州大学応用力学研究所：助手

<https://doi.org/10.15017/4743700>

出版情報：応用力学研究所所報. 58, pp.115-119, 1983-02. 九州大学応用力学研究所
バージョン：
権利関係：



寄 書

魚礁に関する文献集(その 6)

井 上 進*

ひきつづき、魚礁に関する文献を掲げる。表示の方法は、概ね前報(魚礁に関する文献集(その 5))、応用力学研究所報、第 57 号、昭和 57 年、頁 699—718)と同じである。若干の変更点のみを下に挙げる。

(1) 雑誌等に掲載された文献に対して、従来はその第 1 頁の所在を示すにとどめたが、本報では、第 1 頁—最終頁 という形式に改めて、文献としての大小を一目して明らかならしめた。

(2) “昭和〇〇年度事業報告”という表題の文献には、しばしば発行年が明示されていないものが見受けられる。その様なものに対して、従来はその(予算)年度の終了後直ちに(次年度の初めに)発行されたものと仮定して整理を行なった。(例えば、“昭和 45 年度事業報告”とのみ記されて、発行年の記載のないものについては、昭和 46 年中に発行されたものと推定して整理した。)しかしながら、この推定にはとくに根拠がないので、本報では、発行年の明記されているものは、従来通り、文献表題のあとに(発行年)としてそれを掲げ、また単なる推測によるものは、《発行年》として、両者の区別を明らかにした。なお発行年には従来通り西暦による表示を採用した。

(3) 水産試験場から発行された事業報告類には、表紙の上方に大きく“事業報告”と記し、下方に小さく“〇〇水産試験場”と印刷されたものと、両者を併せた形で大きく“〇〇水産試験場事業報告”と印刷されたものの 2 種類が見受けられる。従来はこれらを区別することなく、簡単のため後者の記載法に統一して表示したが、本報ではこれらを区別した。即ち、後者はそのまま。前者については、文献の種類は単に“事業報告”とし、文献表示の終りに 〇〇水産試験場発行 と註記して、その文献の実状に近づけるように努めた。

参 考 文 献

- 1) 宮本正昭，清水昭治：魚礁設置事業効果認定調査(昭和 31 年分)，昭和 32 年度事業報告 和歌山県水産試験場発行 (1958) 146—147.
- 2) 島根県水産商工部水産課(発行)：漁場改良造成事業調査報告検討会討議要録(昭和 37 年度)(日本海ブロック) (1963) 1—75.

* 九州大学助手，応用力学研究所(岡部淳一紹介)

- 3) 吉原三隆：人工魚礁飼付漁業試験，新潟県水産試験場事業報告書 昭和 38 年度 (1964) 8—16.
- 4) 佐々木 星，大向幸三：人工魚礁調査，岩手県水産試験場年報 昭和 39 年度 (1965) 22—23.
- 5) 川嶋昭二，寺井勝治：人工魚礁の効果調査 大型魚礁における漁獲調査 調査地釧路市沖合，大型魚礁設置事業効果認定特別調査 (昭和 40 年度) 昭和 40 年度漁場改良造成事業大型魚礁設置事業効果調査報告書 北海道立釧路水産試験場発行 (1966) 89—96.
- 6) 工藤敬司，結城了悟：人工魚礁の効果調査 大型魚礁における漁獲調査 調査地鹿部村沖合，大型魚礁設置事業効果認定特別調査 (昭和 40 年度) 昭和 40 年度漁場改良造成事業大型魚礁設置事業効果調査報告書 北海道立函館水産試験場発行 (1966) 83—87.
- 7) 島根県 (発行)：漁場改良造成事業効果認定調査報告書，昭和 40 年度大型魚礁設置事業効果調査報告書 (1966) 1—12.
- 8) 横山善勝：人工魚礁の効果調査 大型魚礁における漁獲調査 調査地余市町沖合，大型魚礁設置事業効果認定特別調査 (昭和 40 年度) 昭和 40 年度漁場改良造成事業大型魚礁設置事業効果調査報告書 北海道立中央水産試験場発行 (1966) 73—82.
- 9) 青森県水産試験場 (発行)：三厩地区大型魚礁特別調査報告書 (1967) 2—52.
- 10) 川嶋昭二，寺井勝春：人工魚礁の効果調査 大型魚礁における漁獲調査 調査地釧路市沖合，大型魚礁設置事業効果認定特別調査 (昭和 41 年度) 昭和 41 年度漁場改良造成事業大型魚礁設置事業効果調査報告書 北海道立釧路水産試験場発行 (1967) 133—139.
- 11) 浜田盛治，田畑重行，平見哲朗，尾脇満雄，調査船ひのくに (船長金森清エ門他乗組員)：昭和 41 年度設置並型魚礁沈没状況調査，昭和 41 年度事業報告書 熊本県水産試験場発行 (1967) 243—251.
- 12) 横山善勝：人工魚礁の効果調査 大型魚礁における漁獲調査 調査地余市町沖合，大型魚礁設置事業効果認定特別調査 (昭和 41 年度) 昭和 41 年度漁場改良造成事業大型魚礁設置事業効果調査報告書 北海道立中央水産試験場発行 (1967) 104—119.
- 13) 北海道立函館水産試験場増殖部，資源部，おやしお丸：鹿部沖大型魚礁効果認定調査，昭和 42 年度(1967) 事業報告書 北海道立函館水産試験場発行 (1968) 89—91.
- 14) 和歌山県水産試験場：印南沖大型魚礁設置事業効果認定特別調査報告書，昭和 41・42 年度 印南沖大型魚礁設置事業効果認定特別調査報告書 (1968) 1—23，付図折り込み 5 葉.
- 15) 元谷 令，永沼武男，斉藤勝男：浅海増殖振興調査 (委託事業) 1 大型魚礁設置事業効果認定特別調査 (戸井町及び上磯町沖の魚礁について)，昭和 43 年度(1968) 事業報告書 北海道立函館水産試験場発行 (1969) 66—77.
- 16) 和歌山県水産試験場 (発行)：昭和 44 年度串本沖大型魚礁設置事業効果認定特別調査報告書，(和水試調査研究報告第 42 号) (1970) 1—23.
- 17) 山本和平，平見哲朗，須川与次郎：湯島西沖大型魚礁築設状況調査，昭和 45 年度事業報告書 熊本県水産試験場発行 (1971) 151—153.

- 18) 日吉春一, 稲葉繁雄, 佐藤浩一: 漁場改良造成事業調査指導 1. 並型魚礁設置事業, 2. 大型魚礁設置事業 及び 3. 魚礁の集魚効果試験, 昭和 47 年度事業報告 静岡県水産試験場発行 (1973) 170—172, 173—175 及び 175—177.
- 19) 日吉春一: 漁場改良造成事業調査指導 1. 並型魚礁設置事業 及び 2. 大型魚礁設置事業, 昭和 48 年度事業報告 静岡県水産試験場発行 (1974) 134—136 及び 137—139.
- 20) 中村 充: 浮養殖施設の設計法, FAO 水産増養殖国際会議論文集 [I] 水産庁発行 (1976) 126—131.
- 21) 河野二夫: 海洋構造物(魚礁)の設計に関する基礎的研究, 第 24 回海岸工学講演会論文集 土木学会発行 (1977) 629—633.
- 22) 中村 充, 上北征男: 養殖筏の設計外力に関する研究, 第 24 回海岸工学講演会論文集 土木学会発行 (1977) 625—628.
- 23) 赤羽光秋, 田村真通: 昭和 52 年度, 西津軽地区人工礁漁場造成事業調査報告書, 青森県水産試験場発行 (1978) 1—32.
- 24) 横山善勝: 人工魚礁の効果調査 調査地北後志海域, 大型魚礁設置事業効果認定特別調査 (昭和 51・52 年度) 昭和 52 年度大型魚礁設置事業効果調査報告書 北海道立中央水産試験場発行 (1978) 1—26.
- 25) 横山善勝, 桜井尚衛, 粕谷英男: 昭和 52 年度並型魚礁効果確認調査報告書 (ジャンボ魚礁) 調査地苫小牧, 昭和 52 年度大型魚礁設置事業効果調査報告 北海道立中央水産試験場発行 (1978) 27—69.
- 26) 和歌山県 (発行): 昭和 52 年度人工礁漁場造成事業調査報告書 (日高地区), (1978) 1—68.
- 27) 青森県水産試験場 (発行): 西津軽地区人工礁漁場造成事業関連調査 (報告書), 昭和 53 年度西津軽地区人工礁漁場造成事業関連調査報告書 (1979) 1—21, 写真折り込み 1 葉, 付図折り込み 10 葉.
- 28) 樫木 享, 後野正雄: 人工魚礁の背後流況変化の数値シミュレーションについて, 第 26 回海岸工学講演会論文集 土木学会発行 (1979) 673—676.
- 29) 浦田勝喜: 大型魚礁築設状況調査 (栖本灘), 昭和 53 年度事業報告書 熊本県水産試験場発行 (1980) 31—33.
- 30) 和歌山県 (発行): 昭和 54 年度幼稚仔保育場造成事業調査報告書 (マダイ) 湯浅地区, (1980) 1—83.
- 31) 大森五郎, 新谷淑生, 石田善久: 誘導魚礁適地調査, 昭和 54 年度高知県水産試験場事業報告書 77 (1981) 14—16.
- 32) 大森五郎, 石田善久, 村田 宏, 新谷淑生: 樹木魚礁の追跡調査について, 昭和 54 年度高知県水産試験場事業報告書 77 (1981) 33—39.

- 33) 高知県水産試験場漁業科：第1章 浮魚礁開発試験実施概要，昭和54年度高知県水産試験場事業報告書 77 (1981) 17—32.
- 34) 堺 告久：増殖漁場開発調査 3) 大型魚礁設置のための適地調査（洲本市由良町高崎沖），昭和55年度兵庫県立水産試験場事業報告 (1981) 353—354.
- 35) 堺 告久，仲野達也，橋本静男：増殖漁場開発調査 4) 家島沖大型魚礁設置後の状況調査，昭和55年度兵庫県立水産試験場事業報告 (1981) 355—356.
- 36) 堺 告久，中村一彦：昭和55年度保護水面（人工藻場造成）効果調査，昭和55年度保護水面（人工藻場造成）効果調査報告書 兵庫県立水産試験場発行 (1981) 1—22.
- 37) 沢田貴義，津久井文夫：魚礁に関する調査研究 1. 並型および大型魚礁設置事業調査 及び 2. 浮魚礁技術開発研究，昭和55年度事業報告 静岡県水産試験場発行 (1981) 65—67 及び 67—68.
- 38) 島本信夫，堺 告久，柴田忠士，満尾伸洋，佐野義勝，八橋忠良：増殖漁場開発調査 1) 昭和55年度南淡路地区人工礁漁場造成事業調査，昭和55年度兵庫県立水産試験場事業報告 (1981) 331—352.
- 39) 清水詢道：浮魚礁試験調査，昭和55年度業務概要 神奈川県水産試験場発行 神水試資料 No. 283 (1981) 48—49.
- 40) 清水詢道：人工礁漁場造成 (2) 魚群分布調査，昭和55年度業務概要 神奈川県水産試験場発行 神水試資料 No. 283 (1981) 50—54.
- 41) 永田 知：人工礁漁場造成 (1) 集魚効果調査（漁獲調査），昭和55年度業務概要 神奈川県水産試験場発行 神水試資料 No. 283 (1981) 50.
- 42) 堀 義彦，小林 稔，戸羽福治，小沼伊佐男：人工魚礁で捕獲された魚について，沿岸漁場開発調査漁具漁法調査研究 茨城県水産試験場事業報告 昭和55年度 (1981) 101—115.
- 43) 上北征男：水産増養殖施設の水力学的研究，水産工学研究所報告 (3) (1982) 67—100.
- 44) 大久保久直，柿元 皓：人工魚礁調査 (1) 魚礁適地調査 1) 姫津沖大型魚礁，2) 直江津沖並型魚礁 及び 3) 能生沖並型魚礁，新潟県水産試験場年報 昭和55年度 (1982) 47—49，49—50 及び 50—51.
- 45) 大久保久直，柿元 皓：人工魚礁調査 (2) 魚礁効果調査 1) 名立沖大型魚礁分布調査，2) 出雲崎沖大型魚礁分布調査，3) 桑川沖大型魚礁分布調査，4) 既設魚礁調査 及び 5) 天然礁調査，新潟県水産試験場年報 昭和55年度 (1982) 51—58，59—65，66—68，69—74 及び 74—79.
- 46) 小田切譲二，中田凱久：大型魚礁設置適地調査，青森県水産試験場事業概要 昭和55年度 (1982) 151—186.
- 47) 大和田淳，佐藤 照，鈴木孝夫，阿部忠直，本間 実，吉田 肇：沿岸漁業振興事業 1. 人工魚礁潜水調査 2. 人工魚礁対象魚種生態調査 及び 3. 大型魚礁設置予定海域調査（鹿島海域・双葉海域），昭和56年度事業報告書 福島県水産試験場発行 (1982) 17—22，23—28 及び 29—36.
- 48) 柿元 皓：魚礁の規模と配置について，（人工礁漁場に関するシンポジウム——人工礁漁場に関する現況と造成手法の基準化——第36回研究集会講演内容）水産土木 18 (2) (1982) 43—51.
- 49) 堺 告久：漁場造成事業についての問題点・今後の課題，（人工礁漁場に関するシンポジウム——人工礁漁場に関する現況と造成手法の基準化——第36回研究集会講演内容）水産土木 18 (2) (1982) 53—55.

- 50) 田中富重：日高海域における人工礁の効果について 資源管理で人工魚礁を最大限に利用，
Ocean Age 14 (7) (1982) 38—46.

(昭和 57 年 10 月 30 日 受理)